

大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	12
2. 大学等名	八戸工業大学
3. テーマ	Ⅱ. 学修成果の可視化
4. 取組学部等名	工学部、感性デザイン学部
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	（389.5文字）
<p>本学の建学精神は「正己以格物」であり、教育理念は「良き技術は、良き人格から生まれる」である。これらを具現化するために全学の使命・目的が制定され、さらに学部・学科ごとに人材養成目的として具体化されている。</p> <p>日本技術者教育認定機構(JABEE)による認定活動（工学部全学科コース認定）への全学的な取り組みにより、工学部各学科は学生が卒業時点までに身に付けるべき具体的な能力（アウトカムズ）を学習・教育の目標として定め、感性デザイン学部においてもこの制度に準じて全学的な教育の改善・改革を進めている。</p> <p>将来計画委員会において、今後の学部学科再編の指針が示され、今後は地域の意見を踏まえつつ、グローバルな教育の構築も加速しなければならない。このことから、教育課程の体系化、学生自らが自身の学習目標の設定・達成度評価を行うシステムを構築しつつ、良き職業人の育成を目的とした教育体制を構築する。</p>	